



中利缶詰 株式会社
霧島工場

12

工場長 福元 敬吾さん
ふくもと けいご

珠玉の一言：中利の栗は日本一！



出身はえびの市飯野麓地区。製品を作ってお客さんが「美味しかったよ！」と言ってくれるのが一番のやりがいだと語る。仕事をする中で一番気を付けていることは、「安心安全な製品を作り、お客さんに提供すること」と言っていた。内部・外部の検査をし、食中毒対策に努めている。その時の気候・気象により空調の管理をしっかりし、安心して働ける環境を心がけている。

以前は別の仕事をしていたが、知り合いの人に今の会社をすすめられ、最初はアル

バイトで働き始め、その後、社員になったという。仕事をしていくうちに、どんどん会社の仕事が好きになっていったそうだ。「自分たちが作ったものを買ってくれた人が喜んでくれるから39年やってこられた」と語っていた。

「笑顔を忘れないこと。社会は良いことばかりではないけれど、悪いことばかりでもないから前向きに考えること。そして、色々な経験をし、それを活かすことが大事」と、高校生の私たちに語ってくれた。

(取材：1年 豊田・佐藤)

会社概要

本社は京都府。昭和39年に霧島工場が建設され、現在は主工場として稼働しています。

えびの市の特産品である栗を中心に、農産物の甘露煮缶詰・ペーストといった菓子原料や、わらび餅・ぜんざいなどの和菓子を製造しています。

代表者／代表取締役 中川 貴由
設立／昭和36年2月16日
資本金／1,000万円

本社所在地／京都府八幡市八幡神原109番地12
工場所在地／えびの市大字上江796番地3
従業員／48名(うち市内出身者29名)

